



CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会 長 嵐 繁雄
幹 事 林 毅彦
SAA 鈴木 正人
会報小 遠藤 洵
委員長

○例会日 毎週水曜日（12:30 ～ 13:30） ○事務局 TEL/FAX (0246) 56 - 3473
○例会場 ホテルミドリ E-mail:info@iwakinakoso-rc.jp

第 2896 回 例 会 令和 4 年 4 月 20 日 (水 ・ 曇)

ロータリーソング 奉仕の理想

ー 今月は母子の健康月間ですー

4 つのテスト・例会出席心得
佐藤政司 会員



影響を受けています。それに対しロータリーも支援しようと動いています。地区、分区と相談し理事会で決まりました皆さんにご報告をしたいと思います。

◎幹事報告ー林 毅彦幹事

- ・米山記念奨学会より「ハイライト米山」が届いています。
- ・いわき平中央ロータリークラブより創立 30 周年記念式典及び祝賀会の案内が届いています。
- ・いわき南地区保護司会より第 48 回いわき南地区中学生弁論大会後援のお願いが届いています。
- ・東京江戸川ロータリークラブより週報が届いております。
- ・各委員会委員長、小委員長には先日年次報告書の資料をメールとファックスで送らせていただきましたので 4 月 27 日までに提出をお願いします。

◎各委員会報告

◇出席委員会ー鈴木修一郎小委員長

本日の出席状況は下記の通りです。

◇スマイルボックス委員会ー小澤啓一小委員長

- ・会員卓話（急なお願い）ありがとうございます。嵐会長、星会長エレクト、林幹事、吉野（彰）副幹事、富澤、鈴木、高萩、柏原、川口、小澤、清水、渡邊公平パストガバナー、白井、鈴木（雅）、吉野（嘉）、鈴木（修）各会員
- ・本日早退ごめんなさい。吉野（彰）副幹事、蛭田（剛）、佐藤、湯目各会員

◎次年度クラブ編成表について

ー星行夫会長エレクト

皆さん、こんにちは。先程皆さんの机の上に 2022 年ー23 年度のクラブ編成表(案)をお配り致しました。間違いや修正がありましたら私の方へ連絡して下さい。年度計画書を作成しますと先週ご案内を致しましたが、編成表がないと作成できないとのことでお配り致しました。宜しくお願いします。

◎創立 60 周年記念式典出席状況

ー鈴木正人 S A A

当クラブの会員より返信いただいたのがファックスで 22 名で残りの 18 名返答がありません。まだ送っていない方はミドリさんへ出欠のファックスを送って下さい。

◎創立 60 周年新聞広告についてー遠藤 洵会員

福島民報社の遠藤です。先週 60 周年の当日に出す広告のご案内ということで延期前に皆さんにお戻したものを 1 から作ります。再度ご案内をしていますのでお手数ですがもう一度戻していただくようご案内しています。27 日締め切りになっています。現在 10 社様お返事をいただいています。

◎社会奉仕委員会セミナー報告

ー川口登志雄委員長

先程会長からもお話がありましたが、去る 4 月 17 日（日）にロータリー奉仕デーということで社会奉仕委員会も勿来海岸清掃に参加いたしました。磐農インターアクトの生徒さん、日本製紙さんとやまたまやさんの企業からの応援を得て無事清掃活動を終えることが出来ました。4 月 16 日（土）社会国際奉仕委員会のセミナーがオンラインで開催されました。場所は鈴木敏広国際奉仕委員長の会社事務所で富澤会員と 3 名で参加致しました。9 時 45 分開会点鐘、10 時から社会奉仕セミナーがあり講師のアクアマリン福島統括学芸員の岩田さんから福島海ゴミ削減プロジェクトと海洋プラスチックゴミについて約 1 時間お話をお聞き致しました。

◎国際奉仕委員会セミナー報告

ー富澤藤利地区委員

4 月 16 日（土）11 時 45 分から 12 時 45 分の 1 時間で行われました。演題は「日本から世界を変える」ということで二本松の青年海外協力隊訓練所の田中さんのお話を聞きました。田中さんはジャイカの仕事でタイやマレーシア、エチオピア等で働いた実績があるそうです。水質改善の研究（赤痢対策の改善）に参加してきたそうです。

◎会員卓話ー富澤藤利会員



1867 年 11 月 9 日大政奉還（王政復古）の大号令が京都二条城に於いて、諸国の重臣が参集した席で徳川将軍家より発せられました。この大政奉還に至るまでの経緯として、14 代将軍徳川家茂が自ら上洛して孝明天皇から政治を委任するという宣旨を受け、京都守護職として京都に滞在して居た親藩の会津・一橋（徳川）慶喜等と共に、あくまで幕臣や徳川を中心とする政権構想を打ち立てました。この政権構想に会津藩が参加したことが、後の戊辰戦争へと繋がってゆきますが、歴史の流れとして孝明天皇の妹君の和宮は、家茂の正室として降嫁していたのです。こうした時代の背景の中でこの政権構想に薩摩藩等は激怒し、坂本龍馬の仲介で敵であった筈の長州藩と結びつき、藩長同盟が締結されました。一方家茂は、長州征伐の際に病没してしまったため、慶喜は自分の目指した公武合体は困難であることを知り、土佐藩の建白を受けて慶喜が参加されない席で、徳川将軍家（大老）よりの大号令となりました。しかし、幕府勢力の一掃を図りたい新政府軍と、旧幕府軍との間で対立が激化し、翌年正月に鳥羽伏見の戦いが勃発しました。そして錦旗を押し立てた新政府軍に対し、旧幕府軍は大敗を喫しました。この時容保公は、会津に帰り恭順を示しましたが、これが受け入れられなかったため、会津藩内でも次第に主戦論が優勢となり、周辺の奥羽・越と同盟関係を構築し、戦いへの準備が進められました。慶応 4 年(1868 年)政府軍は、会津藩の国境に迫り母性峠を突破し、8 月 23 日には、一挙に会津城下へ侵入しました。この時会津藩の主力部隊は、国境の警備に当たっており手薄でしたが残りの人々の決死の戦いにより、鶴ヶ城内への侵入は防止しました。このため政府軍は、城を落とすことは困難と判断し、砲撃へと戦術を変更し、鶴ヶ城には 1 日に 2,500 発を超える砲弾が、撃ち込まれることとなりました。しかし、籠城して 1 ヶ月後に、遂に力が尽きた会津藩は、鶴ヶ城北出丸に白旗を掲げ、明治元年（1868 年）9 月 22 日に降伏しました。この籠城戦時、会津藩内では中野竹子・他の女性達も娘子軍として戦いましたが、新政府軍の銃弾に倒れ多くの女性達が戦死しました。新政府軍が城下に乱入した時には、家老西郷頼母の家族等 21 人が辞世の句を残して自決したという悲話も残されています。

出席状況	正会員数 本日出席会員数	40 名 28 名	カード出席 本日の修正出席率	2 名 75.0%
------	-----------------	--------------	-------------------	--------------